

証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2022年3月期 通期 決算説明会

2022年4月28日

将来の見通しに関する記述



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2022年3月期 通期連結業績概要



■ 宇宙事業による増収と、メディア事業の費用抑制等により利益面では計画を達成

(百万円)

	2020年度	2021年度	増減率	2021年度 通期業績予想	通期予想 達成率
営業収益 *	139,572	119,632	△14.3%	122,000	98.1%
営業利益	19,151	18,862	△1.5%	18,000	104.8%
経常利益	20,349	20,307	△0.2%	18,800	108.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,345	14,579	+ 9.3%	13,000	112.2%
EBITDA **	45,268	44,179	△2.4%	43,000	102.7%

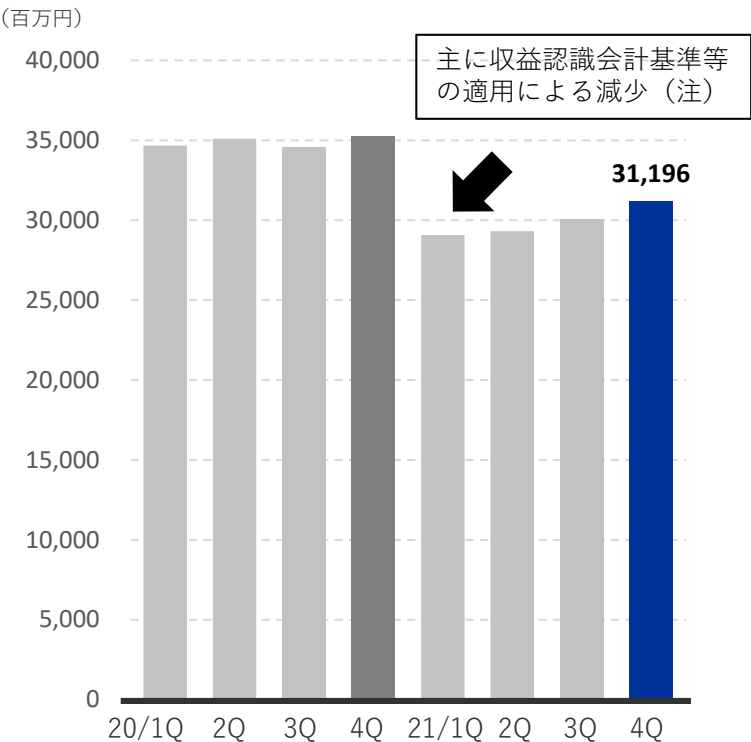
* 2021年度第1四半期会計期間から収益認識に関する会計基準等を適用し、営業収益に対する累計影響額は△210億円。営業利益に対する影響は△3億円。

** EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息。

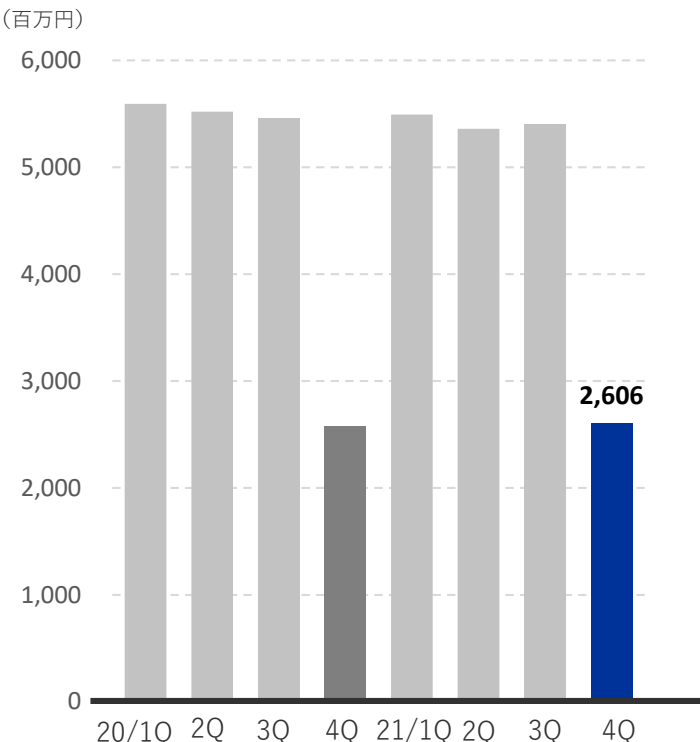
四半期連結業績推移（FY2020/1Q – FY2021/4Q）



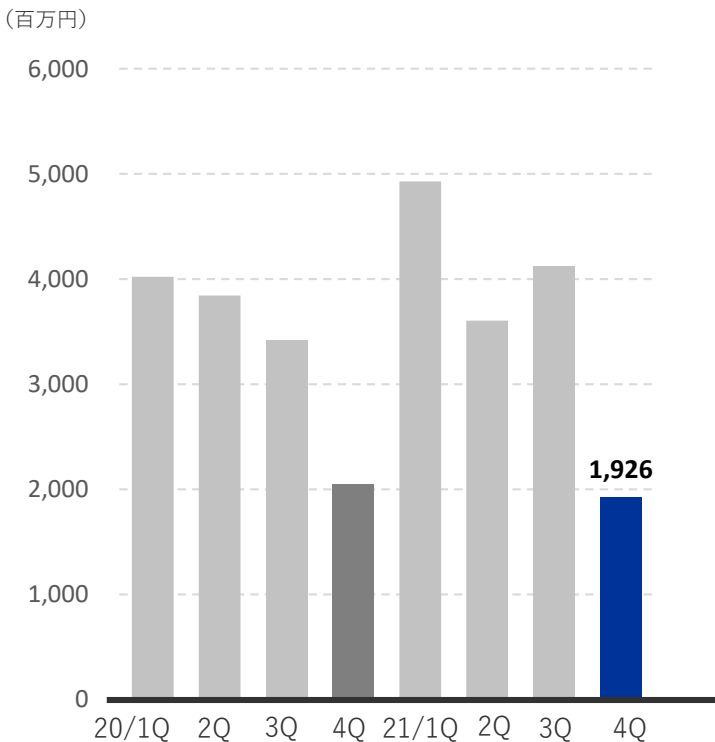
営業収益



営業利益



当期純利益



注：2021年度1四半期連結会計期間から収益認識会計基準等を適用しており、当年度以降は当該基準等を適用した数値。

セグメント別業績概況：宇宙事業



- グローバル・モバイル等の収益貢献に加え、新領域での順調な案件獲得等により増収
- 利益面では、新領域の増収に伴う費用が増加した一方で、衛星減価償却費の減少が寄与し増益

営業収益

(百万円)

58,929
59,500

20年度

21年度

営業利益

(百万円)

13,829
15,867

20年度

21年度

セグメント利益*

(百万円)

9,448
12,298

20年度

21年度

主な増減要因（前年度比）

- **営業収益 595億円（+6億円）****
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△33億円
 - ・ グローバル・モバイル分野：+11億円***
 - ・ 新領域：+18億円***
 - ・ その他：+11億円***
- **営業費用 436億円（△15億円）****
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△32億円
 - ・ 減価償却費：△11億円
 - ・ その他営業費用等：+29億円***
- **営業利益 159億円（+20億円）**
- **セグメント利益 123億円（+29億円）**
 - ・ 連結子会社の解散に伴う税金費用減：+9億円

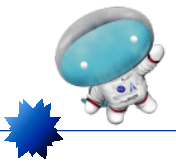
[] は、収益認識会計基準等の適用による影響額。

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

*** 収益認識会計基準等の適用の影響を除く

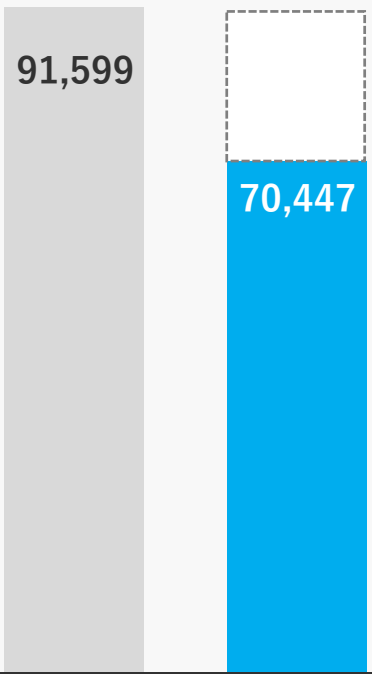
セグメント別業績概況：メディア事業



- 収益認識会計基準等の適用の影響を除き、累計加入者の減少等で約34億円の減収
- 視聴料収入等の減少により、営業利益・セグメント利益とも減益

営業収益

(百万円)

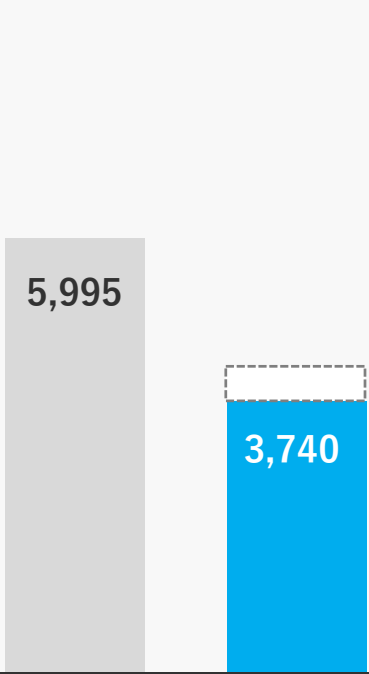


20年度

21年度

営業利益

(百万円)

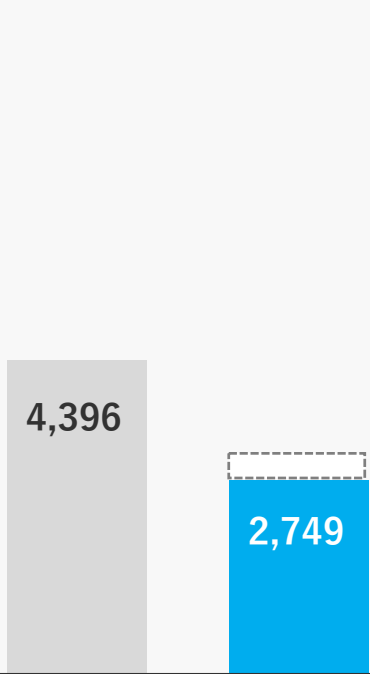


20年度

21年度

セグメント利益*

(百万円)



20年度

21年度

主な増減要因（前年度比）

- 営業収益 704 億円 (△212億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△177億円
 - ・ 視聴料収入の減少：△28億円 ***
- 営業費用 667億円 (△189億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△174億円
 - ・ 番組供給料の減少：△17億円 ***
- 営業利益 37億円 (△23億円)
- セグメント利益 27億円 (△16億円)

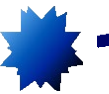
* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

*** 収益認識会計基準等の適用の影響を除く

[] は、収益認識会計基準等の適用による影響額。

2022年度 連結業績予想





2030年を見据え、新領域に積極的に費用を投入しつつ、
基礎収益力で前年度を上回る利益を確保

(百万円)

	2021年度通期実績	2022年度通期予想	増減率
営業収益	119,632	120,000	+0.3%
営業利益	18,862	21,000	+11.3%
経常利益	20,307	21,500	+5.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	14,579	15,000	+2.9%
EBITDA *	44,179	44,400	+ 0.5%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息。JCSAT-17はファイナンスリース取引対象の為、リース債権として計上。

セグメント別業績予想



宇宙事業：JCSAT-1C、Horizons 3e等による増収、衛星減価償却費等の減少により増益
メディア事業：将来の成長に向けた構造改革を推進。新領域へ積極的な費用投下

(百万円)

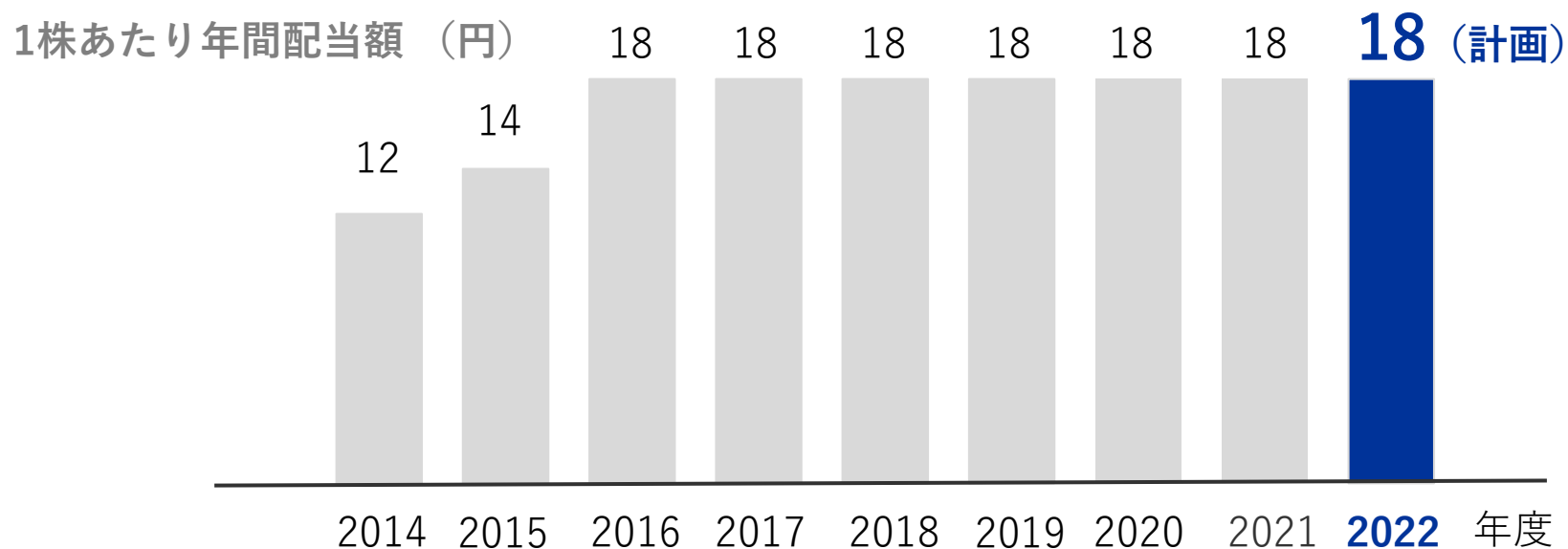
	2022年度セグメント別業績予想			
	宇宙事業	メディア事業	消去または 全社	連結合計
営業収益	61,000 (+1,499)	68,800 (△1,647)	△9,800	120,000 (+367)
営業利益	18,500 (+2,632)	3,200 (△540)	△700	21,000 (+2,137)
セグメント利益 * 純利益ベース	13,000 (+701)	2,400 (△349)	△400	15,000 (+420)

注：()内は対前年度比増減。



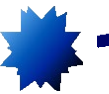
2022年度も安定配当を継続

基礎収益力の向上を図りつつ、1株あたり年間 18 円の配当を実施予定



配当方針： 1株あたり年間 16 円以上、配当性向 30 %以上の条件を満たす配当額

2030年に向けて

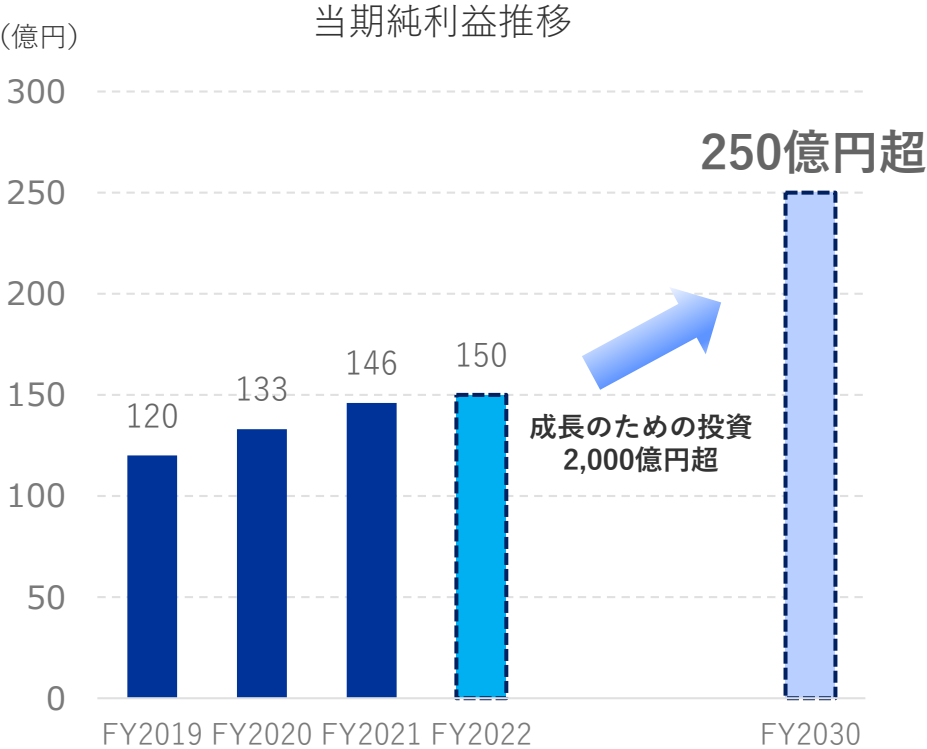




グループミッション「Space for your Smile」のもと、宇宙事業・メディア事業双方の技術・サービスの開発を進め、Society5.0（超スマート社会）の実現に貢献し、250億円を超える当期純利益を目指す。

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ



メディア

Society5.0での貢献

宇宙

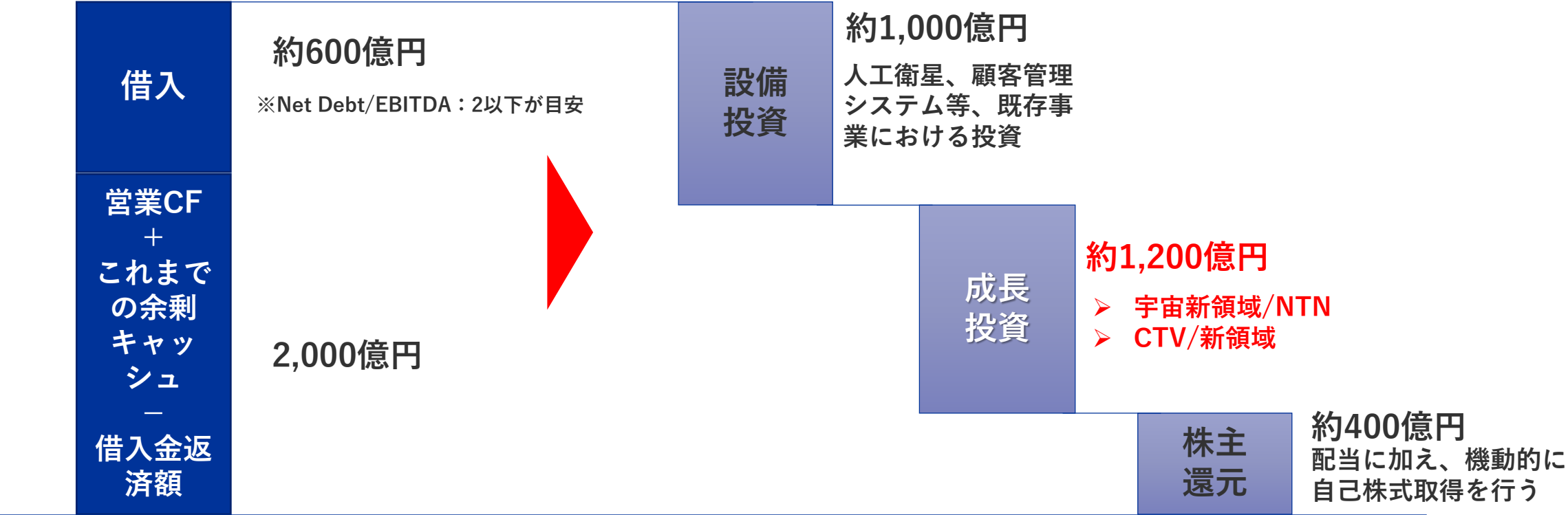
社会が変わるのね

出典：文部科学省ホームページ (<https://www.mext.go.jp/>) を加工

今後5年間のキャピタルアロケーション



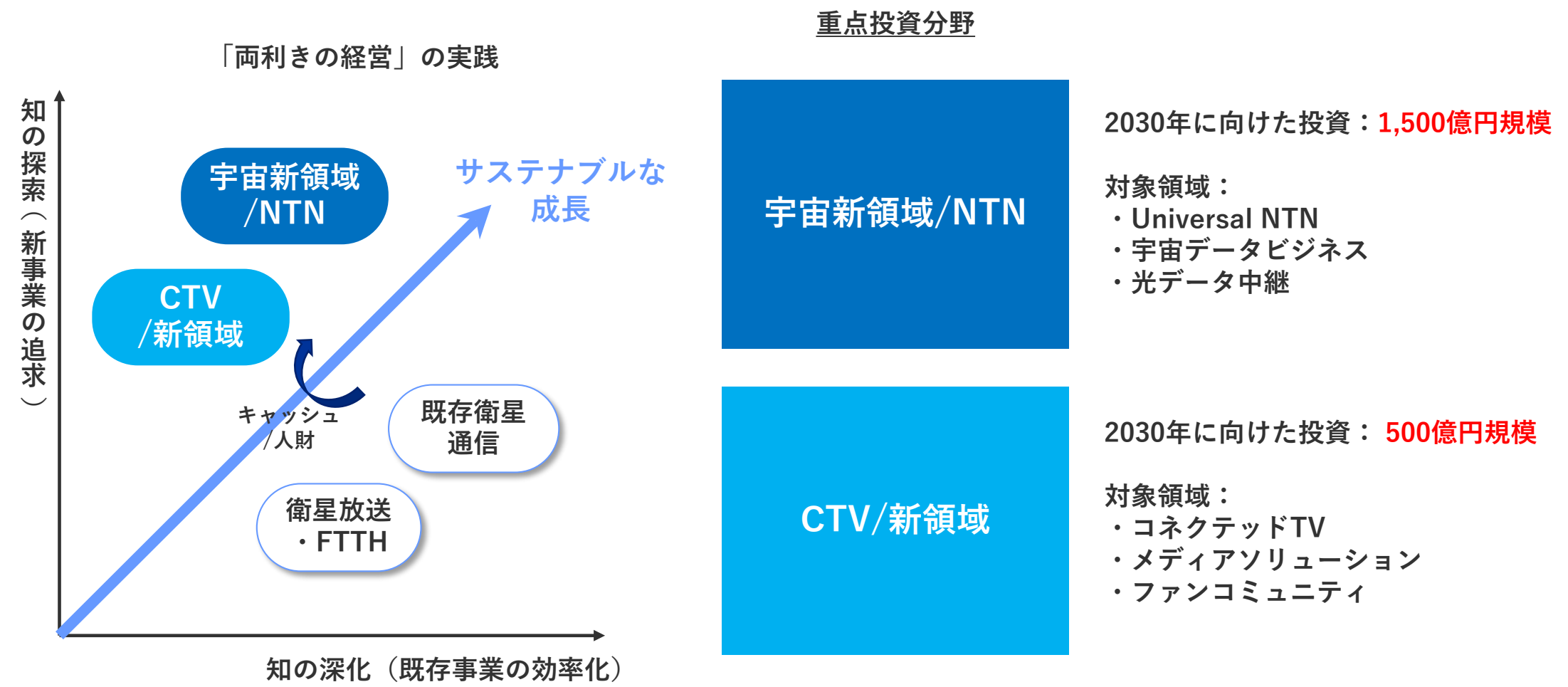
今後5年間は、2030年に向けた基礎収益力向上のための投資期間と位置付ける。
既存事業で安定的に生み出されるキャッシュフローをベースに、成長機会への資金投下を大きく増やしていく。



サステナブルな成長に向けた重点投資分野



既存事業での生産性を高めつつ、大胆に新領域への投資を行っていく



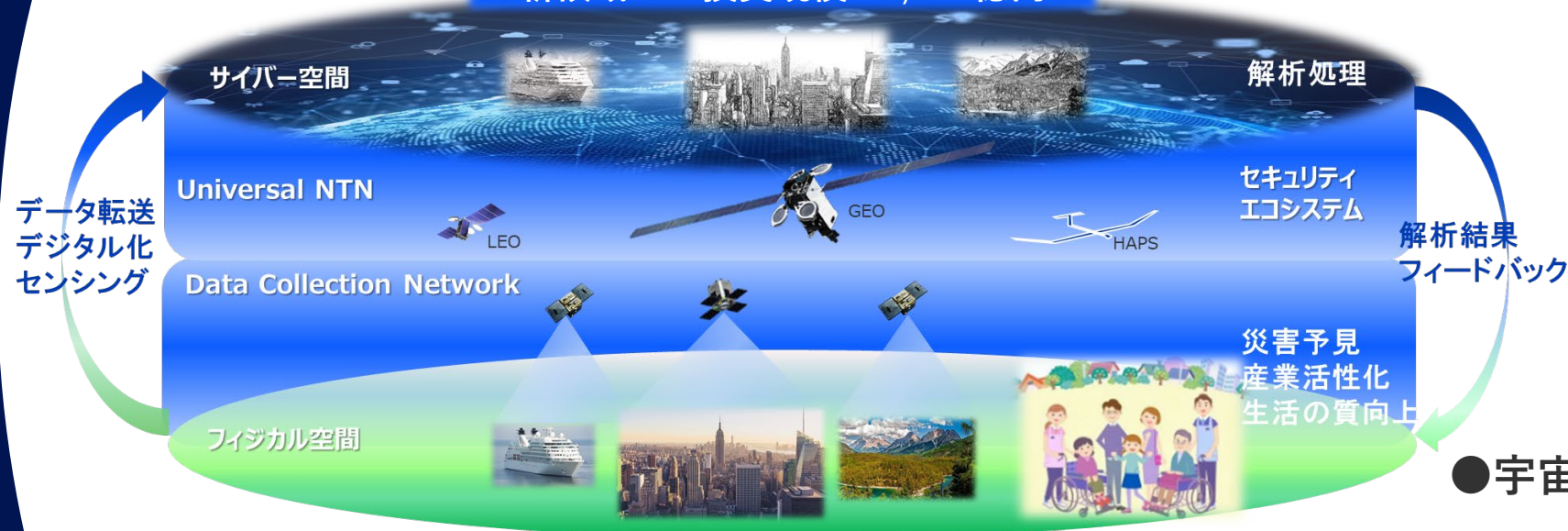
『宇宙事業ビジョン』 ～ Society 5.0 実現に向けて ～

RE BUILDING
SPACE



スカパーJSATは、すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク
及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献します。

新領域への投資規模 1,500億円



宇宙事業領域2030年の目標
セグメント純利益 210億円

●Universal NTN(GEO/LEO/HAPS)

●宇宙データプラットフォーム

○宇宙状況監視サービス

○衛星量子鍵配送サービス

○レーザーデブリ除去システム

●光データ中継

●地球観測データ・解析

2022

2030

■ 新会社設立の目的

2021年5月の業務提携以降検討を進めてきた、宇宙空間の新たなICTインフラ基盤
「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」事業の企画・開発・サービス提供を担う

■ 新会社の主な事業内容

- 宇宙データセンタ事業
宇宙における大容量・コンピューティング基盤
2024年度 光データリレーサービス開始
- 宇宙RAN事業
Beyond 5G/6Gにおけるコミュニケーション基盤
2025年度 HAPS事業の国内開始を予定

■ 新会社の概要

社名：株式会社 Space Compass

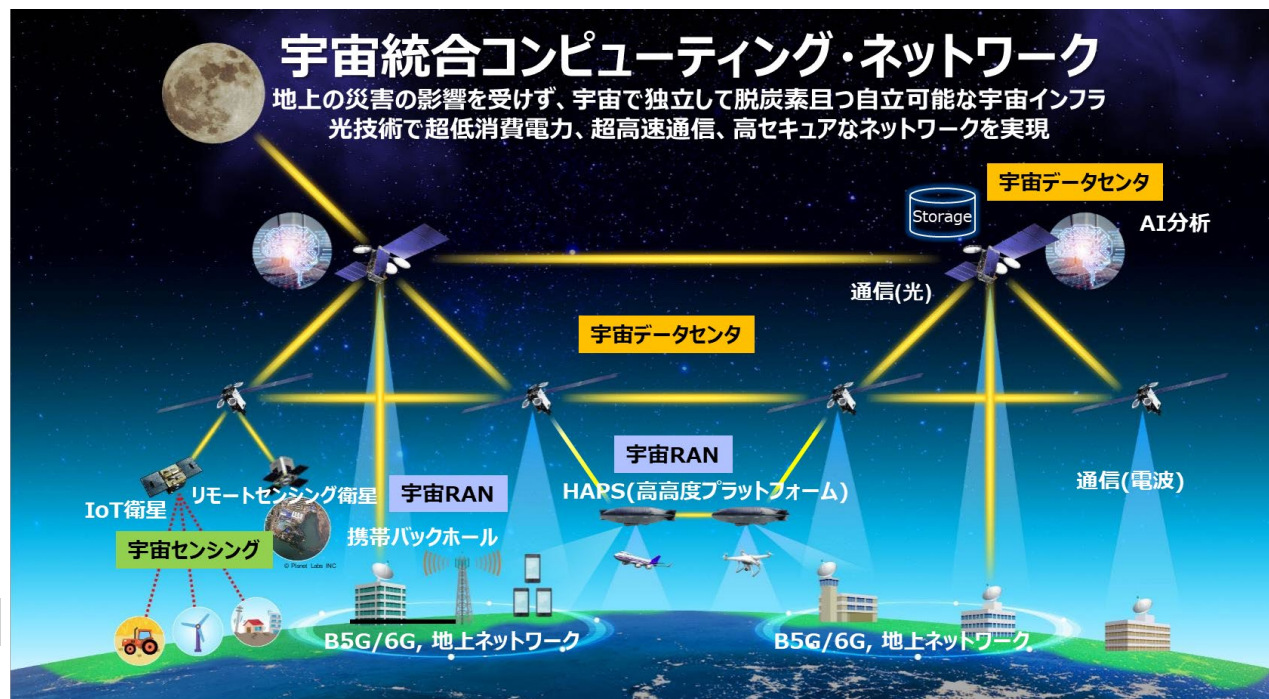
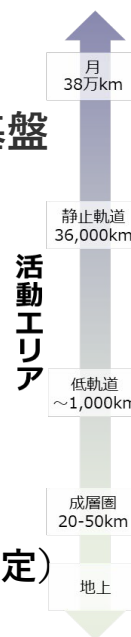
設立時期：2022年7月（予定）

所在地：東京都千代田区（予定）

資本金等：180億円

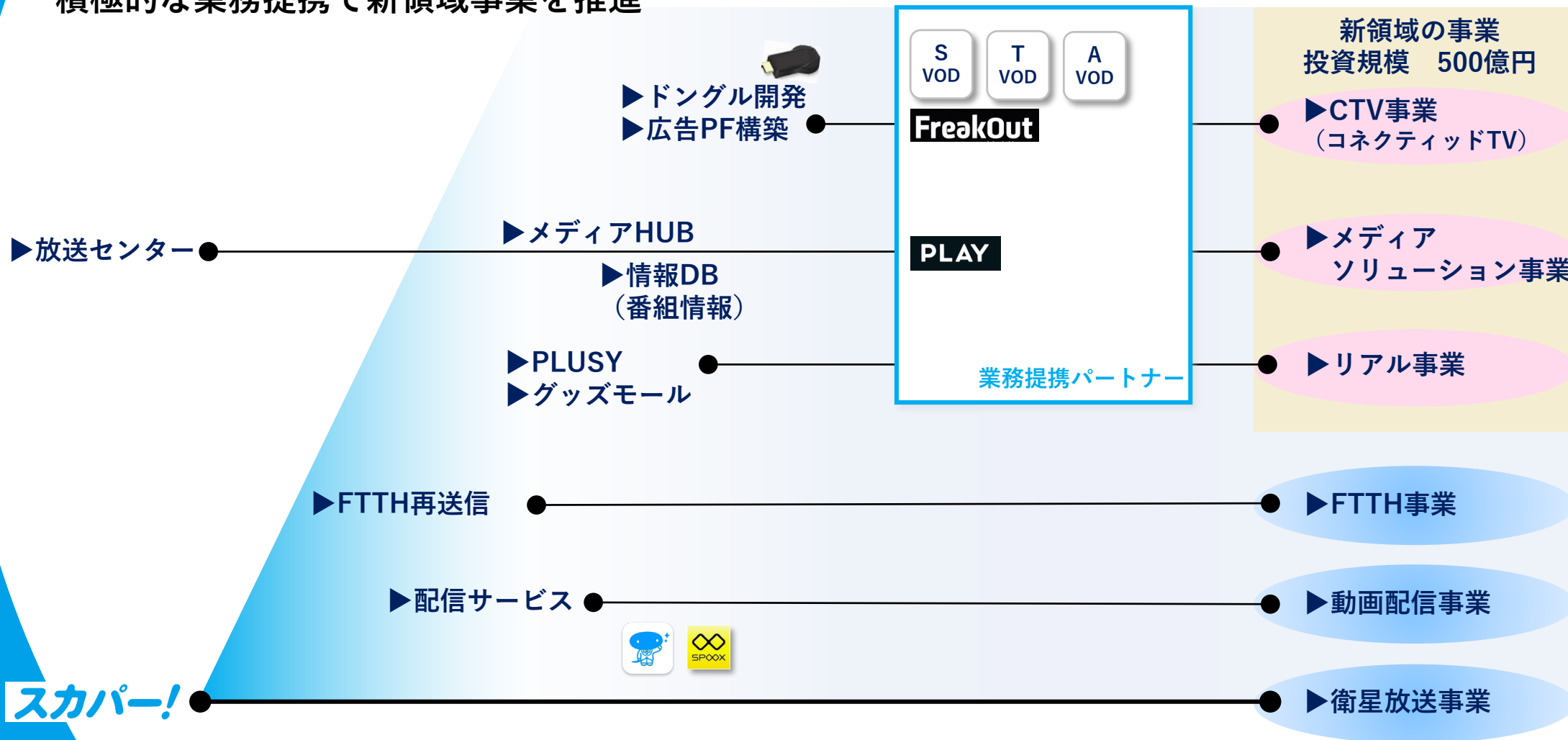
（設立時は資本準備金を含み60億円とし順次増資予定）

株主構成：NTT50% スカパーJSAT50%



メディア事業 成長のストーリー

映像体験のその先へ、ファンの体験を拡張させていく
積極的な業務提携で新領域事業を推進



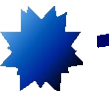
2030年目標
セグメント利益
50億円

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

未知を、 価値に。

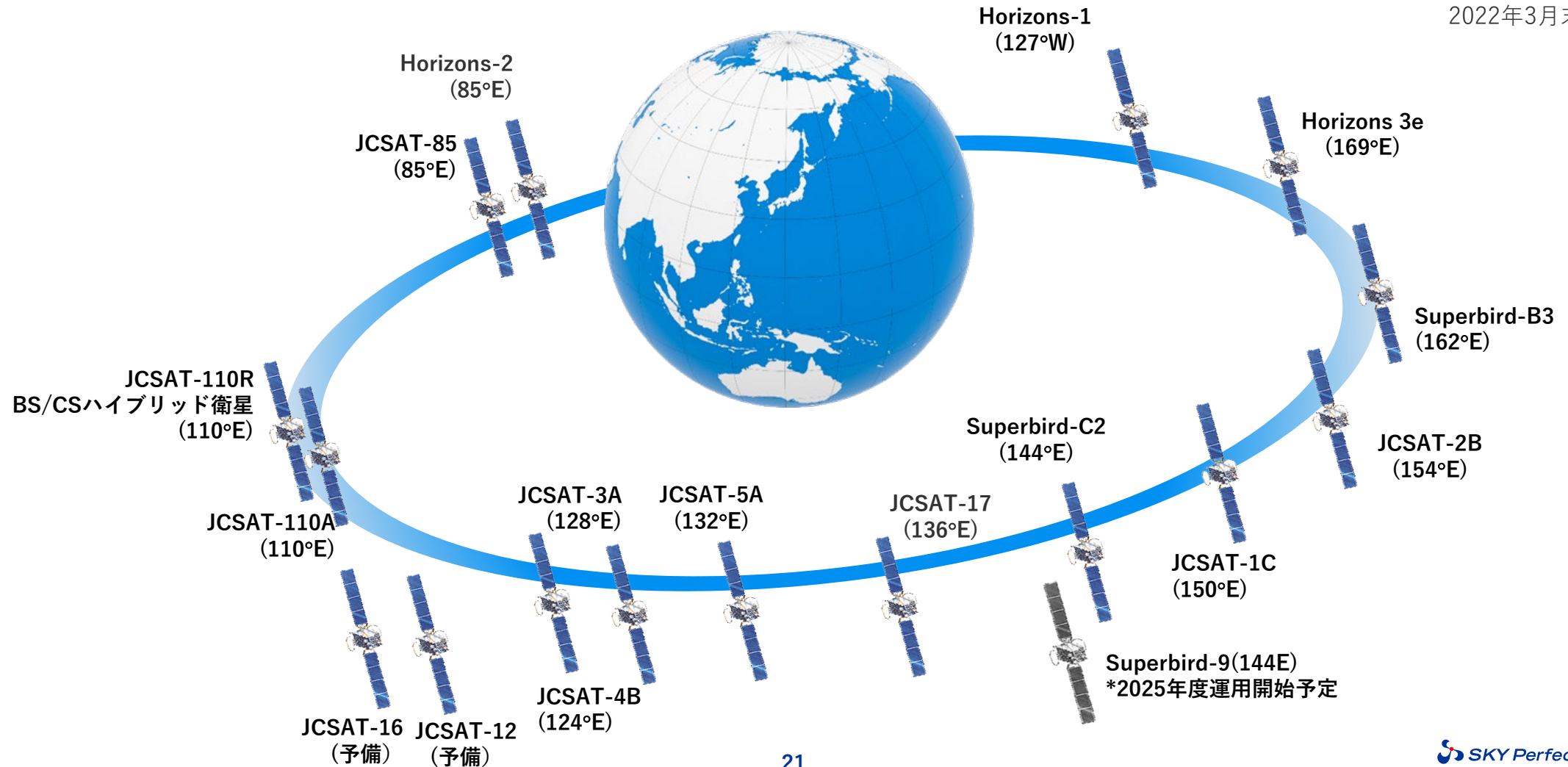
宇宙実業社
スカパーJSAT

参考資料



北米上空からインド洋上空まで 計16機 の衛星を保有

2022年3月末現在



- 株式会社QPS研究所（QPS）のシリーズBラウンドにおいて、リード投資家として資本参加。同社が構築を進めている小型SAR 衛星コンステレーションと当社のアセットやノウハウを連携させた新たなサービスの創出を目指し業務提携契約を締結。
- QPSの小型SAR衛星プロジェクトが、内閣府主催の第5回「宇宙開発利用大賞」において「内閣総理大臣賞」を受賞。
- QPSは内閣府の「宇宙開発利用加速化戦略プログラム（スターダストプログラム）」内の「令和4年度 小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証」に採択されました。
- QPSはイプシロンによる商用打ち上げ輸送サービスの代理店である株式会社IHIエアロスペース（IA）とQPS-SAR3号機及び4号機の打上げをIAに委託することで合意し、2022年4月18日に契約締結。



内閣総理大臣賞 表彰式（内閣府）*



調印式（IA本社）*

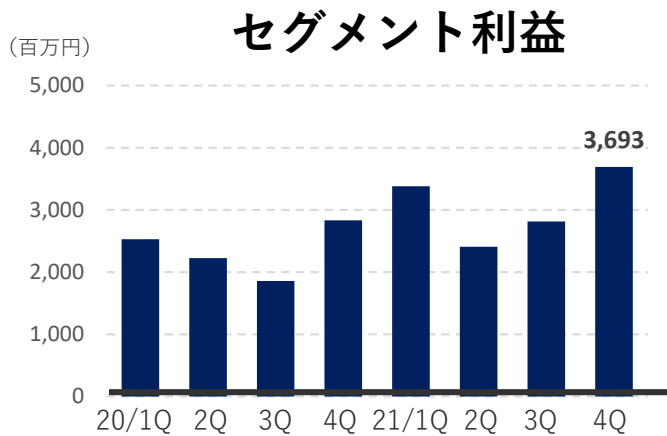
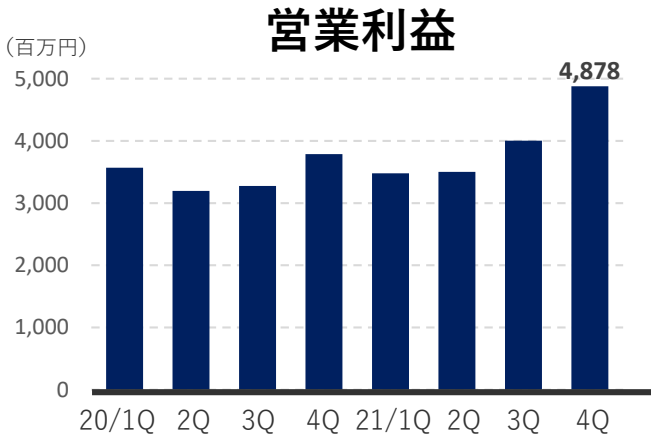
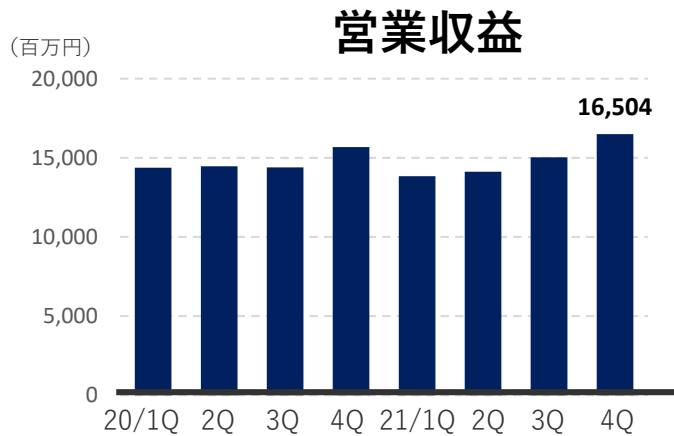
*【写真素材】株式会社QPS研究所からの提供

セグメント別四半期業績(2020/1Q - 2021/4Q)

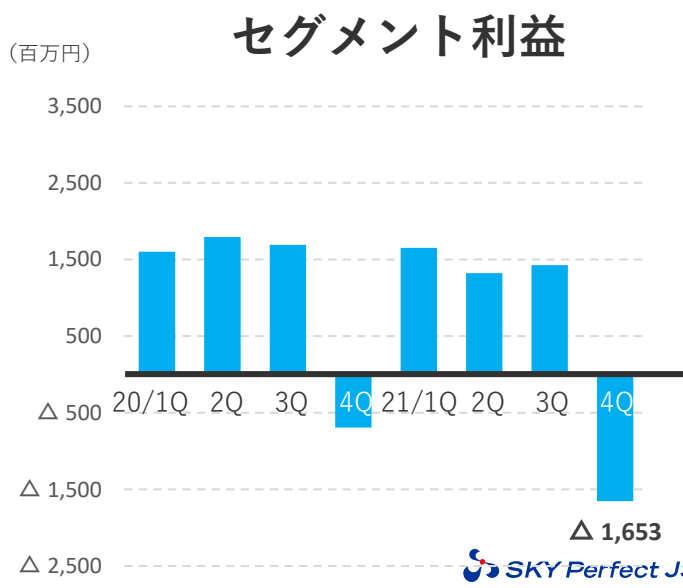
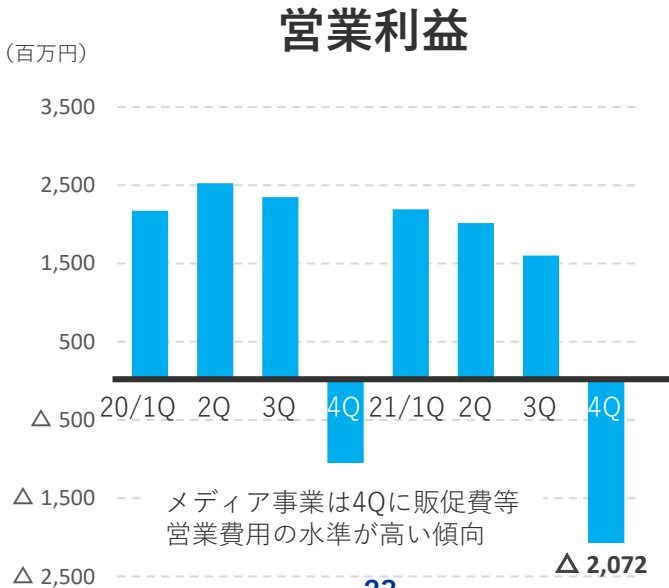
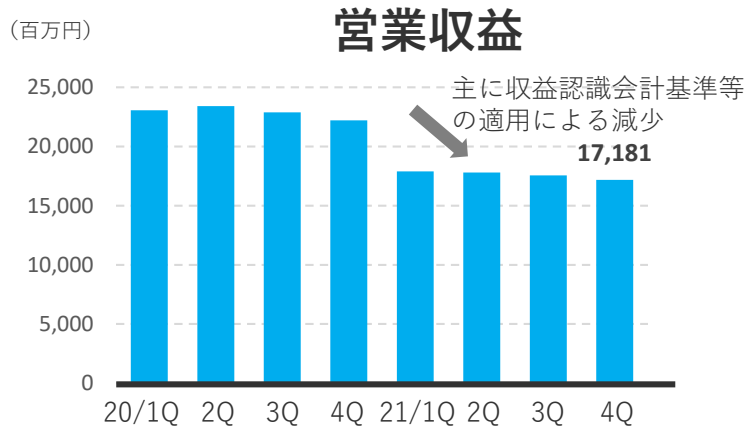


* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

宇宙事業



メディア事業



注：2021年第1四半期連結会計期間から収益認識会計基準等を適用しており、当年度以降は当該基準等を適用した数値。

セグメント別四半期業績(2020/1Q - 2021/4Q)



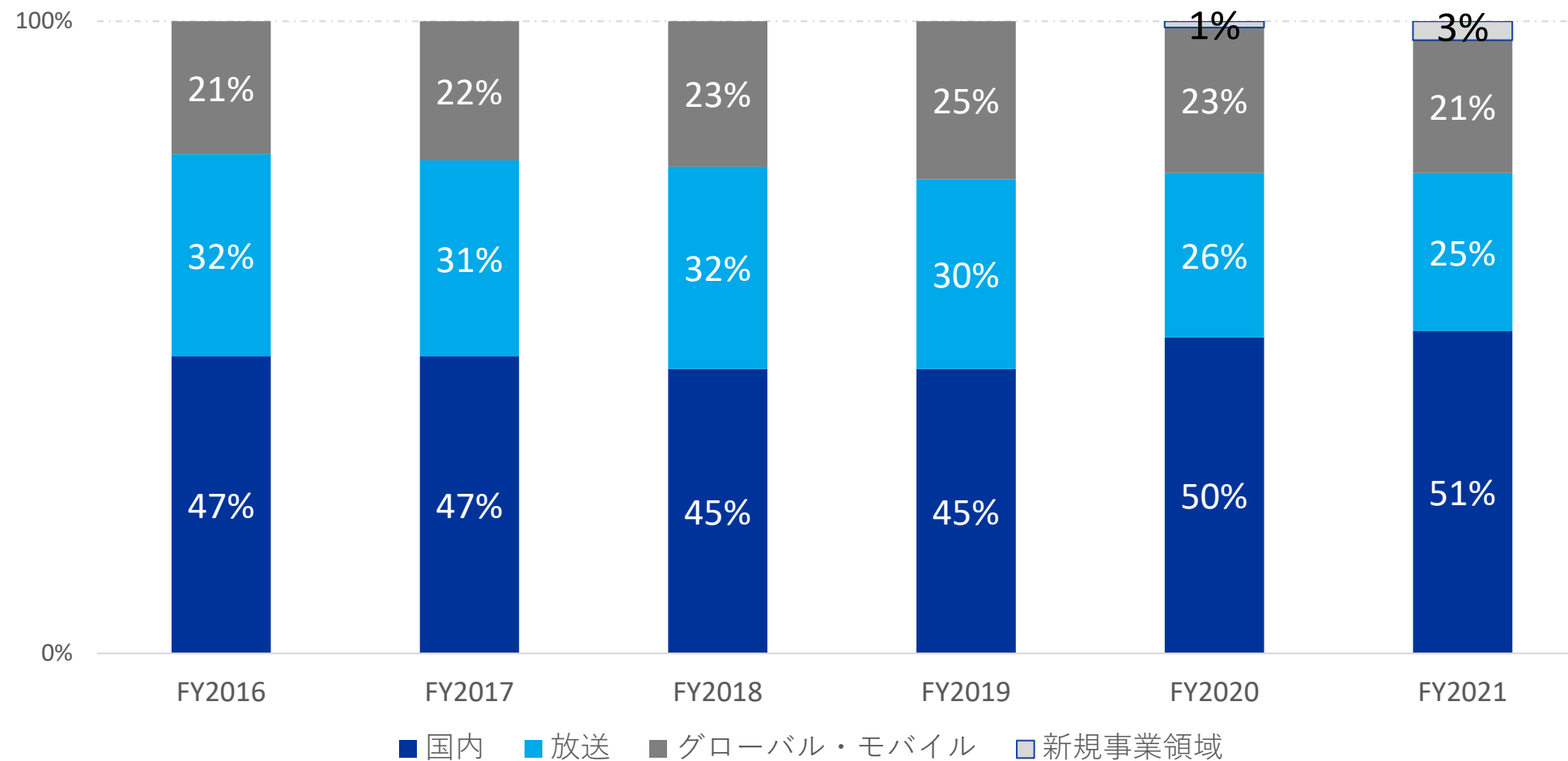
対前年同四半期比較

(百万円)

	2020年度					2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	34,674	35,099	34,568	35,230	139,572	29,078	29,311	30,046	31,196	119,632
宇宙事業	14,381	14,465	14,400	15,681	58,929	13,843	14,121	15,030	16,504	59,500
メディア事業	23,066	23,422	22,896	22,213	91,599	17,896	17,811	17,557	17,181	70,447
消去又は全社	△2,773	△2,789	△2,728	△2,664	△10,956	△2,661	△2,621	△2,542	△2,489	△10,314
営業利益	5,594	5,521	5,461	2,574	19,151	5,493	5,360	5,402	2,606	18,862
宇宙事業	3,568	3,197	3,275	3,788	13,829	3,480	3,503	4,004	4,878	15,867
メディア事業	2,174	2,525	2,347	△1,051	5,995	2,193	2,016	1,602	△2,072	3,740
消去又は全社	△148	△201	△161	△162	△673	△181	△160	△204	△200	△745
セグメント利益 (親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益)	4,022	3,843	3,424	2,054	13,345	4,929	3,604	4,119	1,926	14,579
宇宙事業	2,529	2,226	1,857	2,833	9,448	3,380	2,409	2,815	3,693	12,298
メディア事業	1,603	1,794	1,691	△692	4,396	1,652	1,323	1,426	△1,653	2,749
消去又は全社	△111	△178	△124	△86	△500	△103	△128	△121	△113	△468

※「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、
2021年度第1四半期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く
※FY2021から収益認識に関する会計基準等を適用

2022年度 減価償却費見込み



(億円)			
	2021年度 実績	2022年度 見込	差異
減価償却費	222	219	△3
内訳： 宇宙事業	144	141	△3
メディア事業	73	74	+1
その他	4	4	0

2022年度 投資計画



(億円)

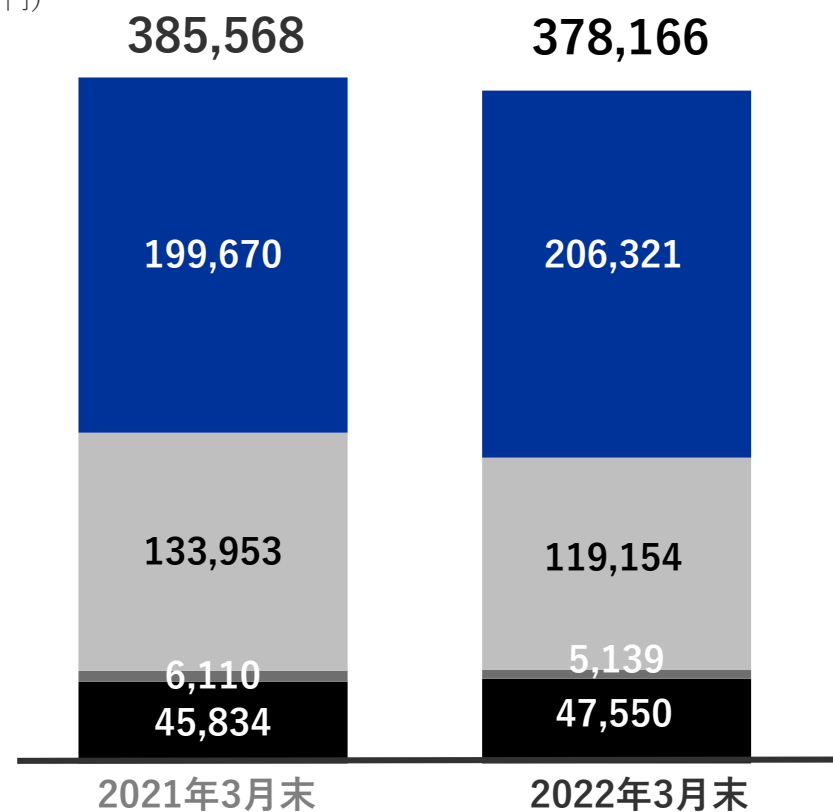
	2021年度 実績	2022年度 見込	差異	備考
① 設備投資額	75	257	182	
内訳: 宇宙事業	33	223	190	衛星の調達等
メディア事業	40	33	△7	
その他	2	3	1	
② 事業投資	30	140	110	NTT協業等
① + ② 投資合計	105	397	292	

連結貸借対照表



資 産

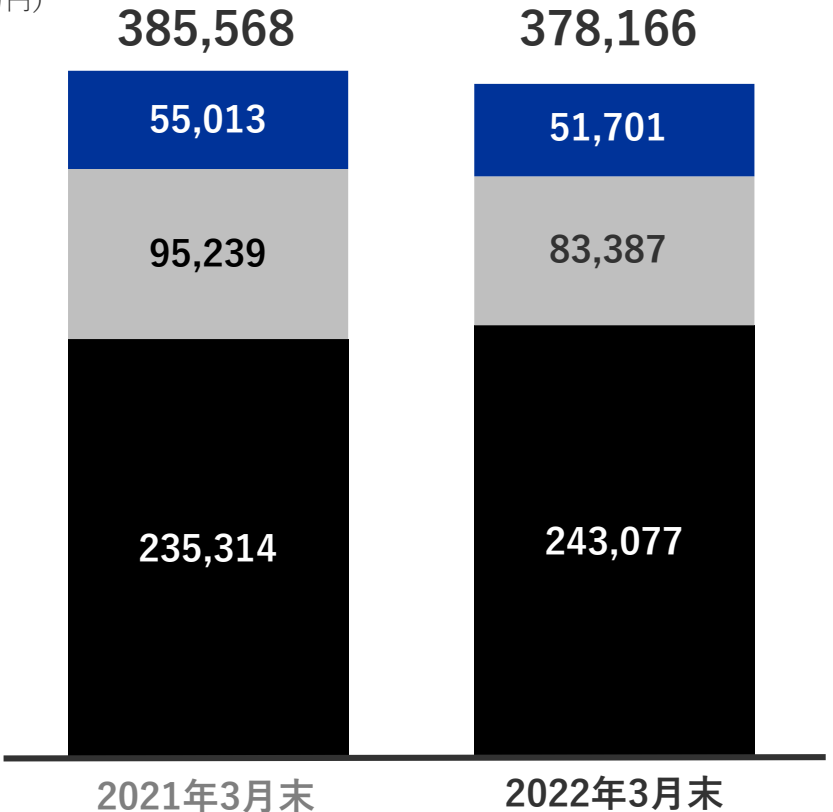
(百万円)



負債・純資産

自己資本比率： 60.8% ➡ 64.0%

(百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー



(百万円)

	2020年度	2021年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,948	36,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,357	△7,737
フリー・キャッシュフロー (*1)	46,590	28,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,878	△16,405
現金及び現金同等物の期末残高(a)	73,193	85,914
有利子負債期末残高 (*2) (b)	90,959	85,351
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	17,765	△562

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債



(百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	有料多チャンネル放 送等のカスタマーセ ンター運営	衛星基幹放送業務、 衛星一般放送業務 等	コンテンツ企画・制作、 技術支援及び番組供給 事業等	北米・ロシア・ア ジア太平洋での衛 星回線販売事業	移動体衛星通信サー ビス事業
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	53.3
営業収益	FY2020/4Q	113,897	6,074	45,349	2,645	3,860	2,966
	FY2021/4Q	112,662	5,854	15,665	2,361	4,344	3,456
営業利益	FY2020/4Q	19,340	365	307	139	73	421
	FY2021/4Q	17,944	385	418	309	956	558
経常利益	FY2020/4Q	20,005	428	314	145	138	428
	FY2021/4Q	22,569	387	424	309	1,102	603

SJC：スカパーJSAT株式会社

SPCC：株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC：株式会社スカパー・ブロードキャスティング

JII：JSAT International Inc.

JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

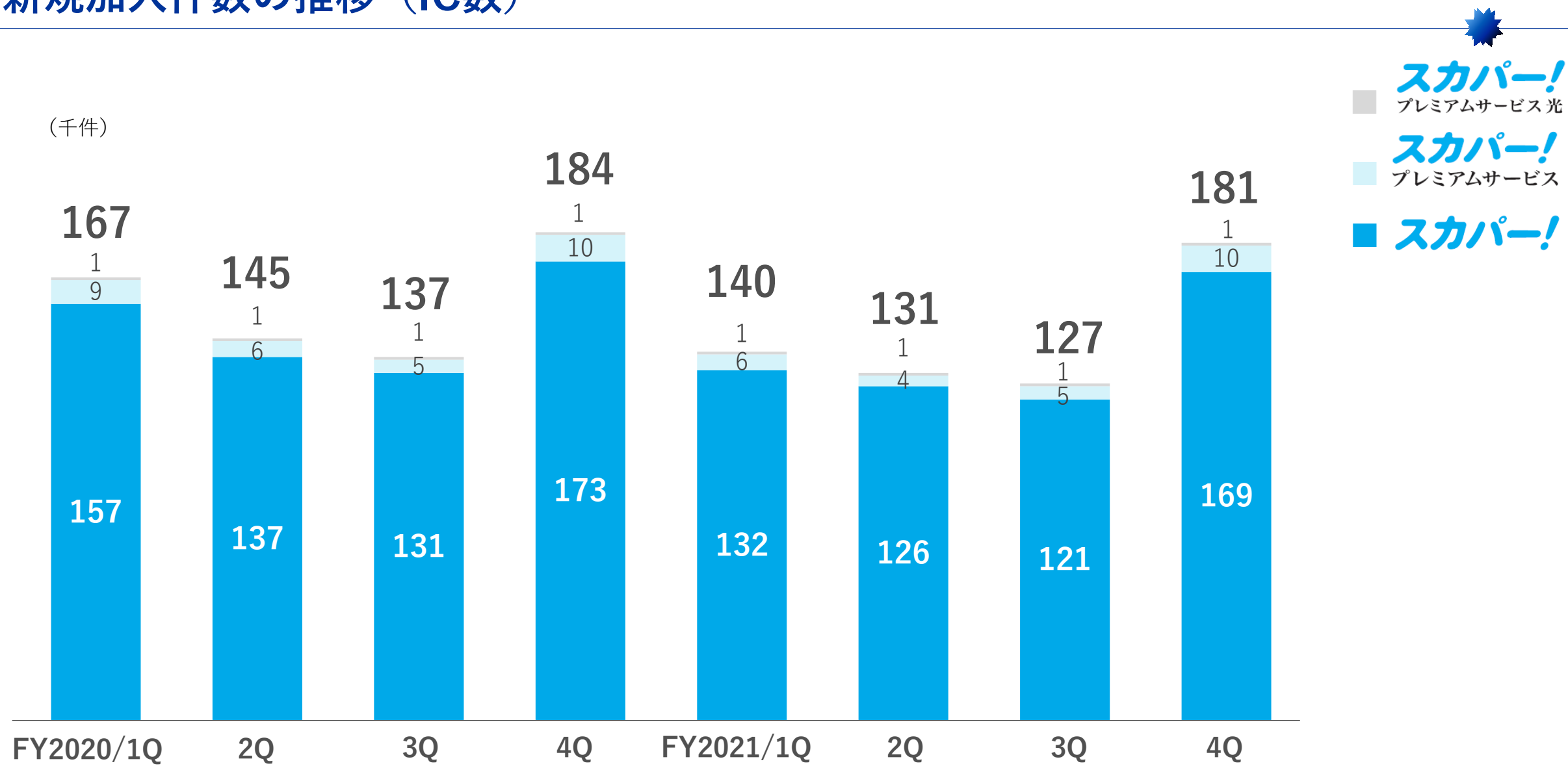
※ 株式会社衛星ネットワークは、2021年12月1日付でスカパーJSAT株式会社に吸収合併されました。

2022年度 加入目標（メディア事業）



	2020年度	2021年度	2022年度 加入目標
新規（IC数：万件）	63.3	57.9	57.2
純増数（IC数：万件）	△6.8	△9.4	△9.5
（スカパー！）	（2.4）	（△1.2）	（△0.5）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△8.8）	（△7.8）	（△8.4）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.5）	（△0.4）	（△0.6）
累計加入件数（IC数：万件）	310.2	300.8	291.3
累計契約者数（契約者数：万件）	251.3	239.5	227.1
光再送信サービス接続世帯数（万件）	244.1	254.2	264.2
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,294	3,326	—
スカパー！プレミアムサービス	3,596	3,557	
スカパー！プレミアムサービス光	5,183	5,109	

新規加入件数の推移（IC数）



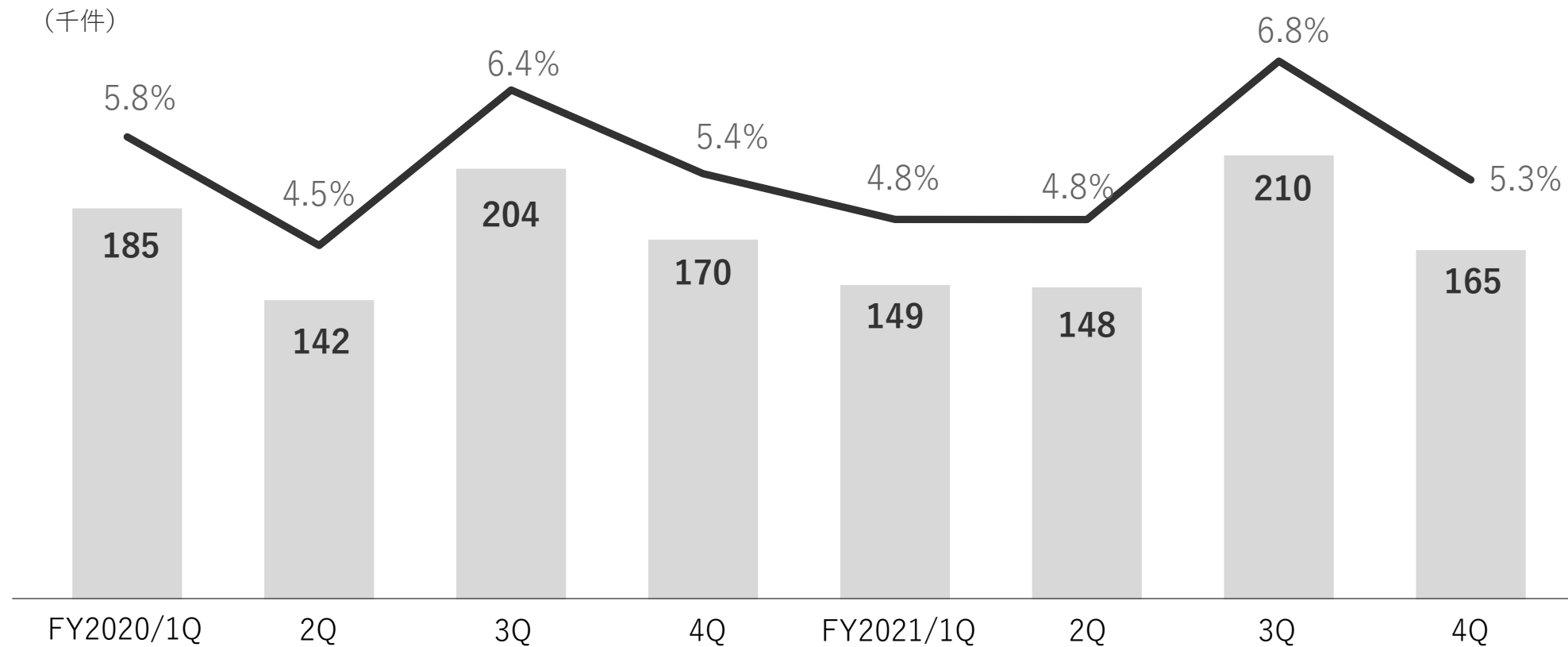
解約率の推移（IC数）



— 解約率 *（四半期毎）

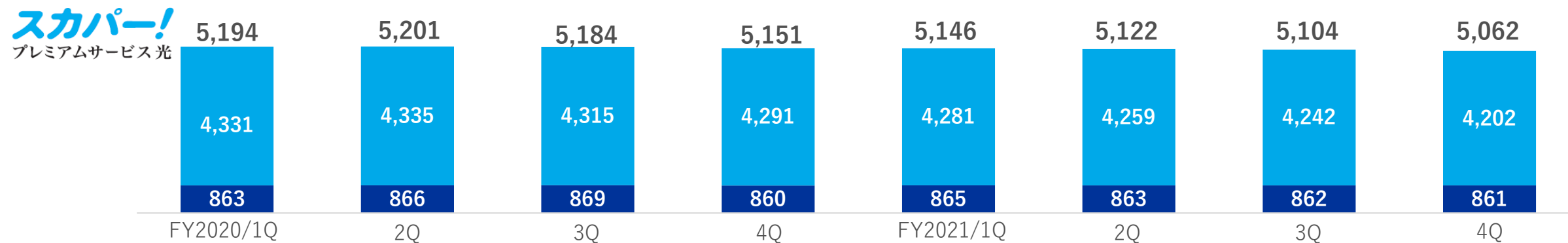
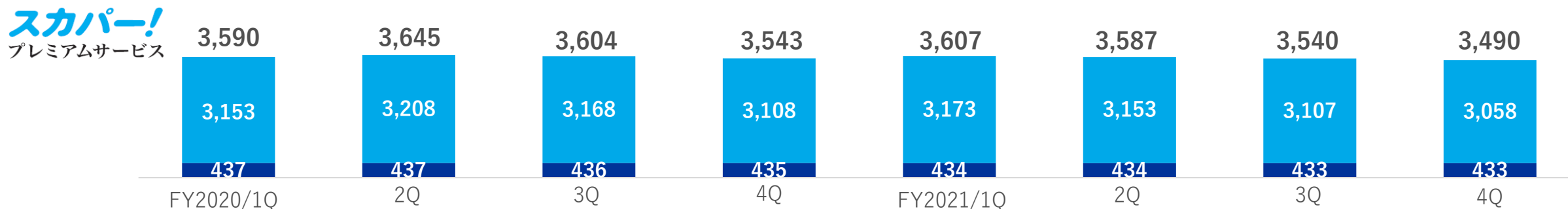
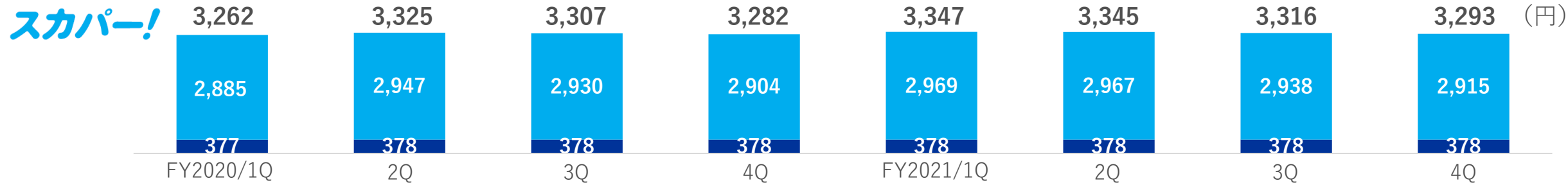
■ 解約件数（千件）

注：すべてスカパー！合計



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価^{*1}



■ 基本料その他^{*2}

■ 視聴料

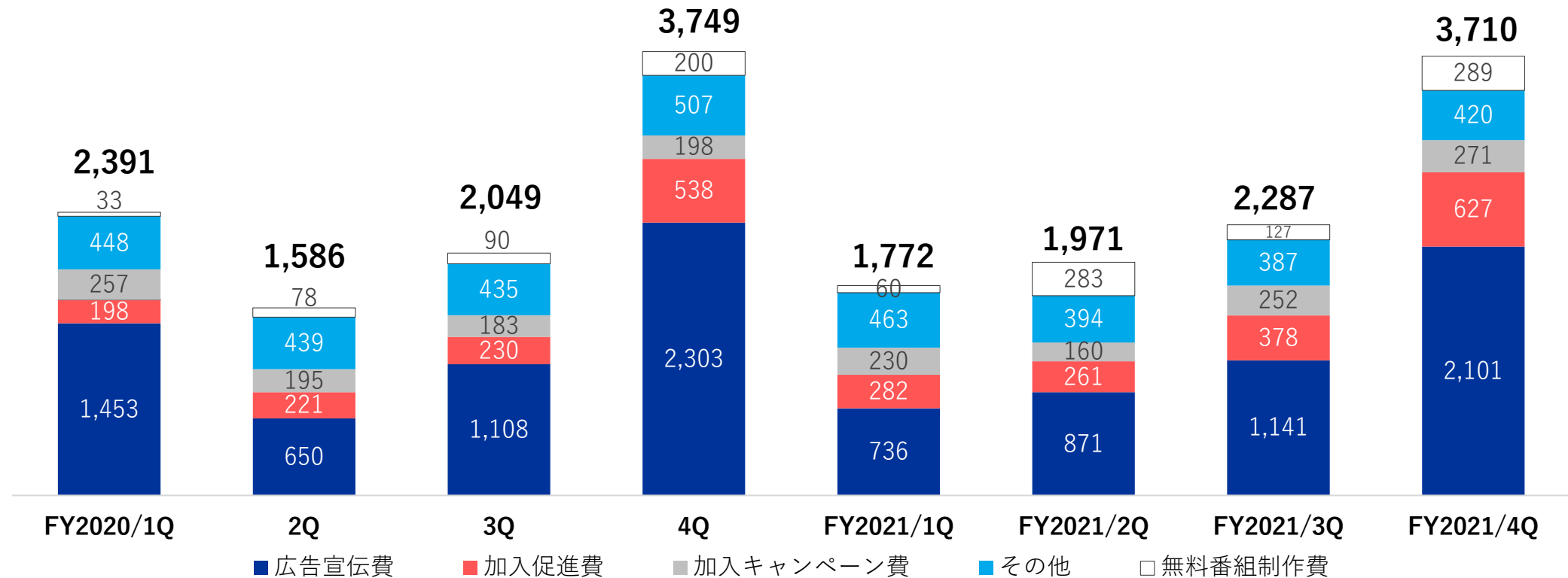
^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービス、およびスカパー!プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

顧客獲得費用総額（SAC）

（百万円）



■ 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用

■ 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ※

■ 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)

■ その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等

□ 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

※2021年度1Qより、従来「販売インセンティブ」として記載していた項目を「加入促進費」に合算して算出しています。2020年度の「加入促進費」も同様に再集計しています。

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

